



チャーチル会東京会報 2025年8月号

Churchill Club Tokyo Newsletter August 2025



8月度 幹事会議事録

令和7年8月09日（土）：13：00～15：00

場所：美連 5F談話室

出席者：高橋幹事長、浅見、相楽、武内、田中、峰岸、美原（欠席：越智、小田）

議題：

- ①新入会員
- ②アトリエ探しの情報交換と今後の取り組み
- ③本年度の展覧会予定
- ④会計報告

①新入会員の紹介（幹事長）

柴隆昭さん、森本秀樹さん、高田暁子さんの3氏が熱心なアトリエ活動と会員との懇親をされたゲスト期間を終え、新しく会員となった。9月13日（土）のアトリエの時間に歓迎式を行う。また新たに2名の入会希望者の紹介があった。

②についての対応

美連からの申し入れで2026年3月一杯で銀座のアトリエが閉鎖になるのを受けて対応策を検討した。宿題になっていた都内のアトリエ候補施設の調査結果を各幹事から説明いただき、概略の要求条件に合ったアトリエ候補が30件ほどピックアップされたが、CC東京で必要とする諸条件にぴったりはまる物件は絞りにくい。そこでこれらの情報源となって営業活動をしている次の二つのエージェントに赴き、CC東京のニーズに合ったアトリエ候補を検討することとした。

①株式会社スパイシー

住所：港区新橋2-20-15 新橋駅ビル1号館605
電話：03-6381-5062
代表者：平川雅一氏

②株式会社スペースマーケット

住所：渋谷区神宮前6-25-14 JRE神宮前メディアスクエアビル2F
電話：050-1744-9909
代表者：重松大輔氏

調査日：9月20日（土）集合：新橋駅に9時ころ集合し午前中に上記2カ所に伺いヒアリングを実施する。

参加予定者：高橋、武内、相楽、浅見

詳細の時間等は浅見から当日までに各幹事に連絡するその際の確認事項は下記の通り

①床面積、②収容人員、③時間家賃、④使用可能時間
その他の確認項目

- ・モチーフ等の保管スペース有無（イーゼル、モチーフ、クロス、雑貨）
- ・モデルさんの着替えスペース有無
- ・1F以外の場合、昇降の有無
- ・会場レイアウトの変更自由度
- ・部屋内での軽食、茶菓はOKか など
- ・その他制約事項の有無

各社へのアポイントメントは浅見が担当し、連絡の事。

③展覧会Tからの報告（武内）

（第52回絵画小品展実施要領）

- ・会期：令和7年12月7日（日）～12月13日（土）
- ・場所：東京交通会館B1ゴールドサロン（半分使用）
- ・実施要領は基本的に前回と同様とする。

提案事項として、支払い方法に振込も可能とする案。

会員の友人知人が買いあげる場合は、その会員の責任において振込を認める案につき幹事会了承

- ・12月の小品展の案内葉書掲載作品は美原会員の作品に決定

④会計報告（相楽）

・幹事会での会計報告の準備作業につき、以下のように進めることになった。

アトリエTおよび展覧会Tの担当者は、幹事会開催日の3日ほど前までに、会計幹事に前回の幹事会以降の出納記録を提出することにする。その後会計幹事が取りまとめ、幹事会にて報告する。

以上

AIと絵 宇井幸作

絵を描くことは好きでも、AI（人工知能）に関しては浅学菲才の身で、AIと絵について書くなどとは不遜であると思いつつ、最近感じていることを書いてみようと思う。

以前、2～3年前の海外の事例であったと思うが、AIで作成した絵が、人間が描いた絵を押さえてグランプリを取ったという記事を読んだことがある。その時はそれ程驚いた記憶はない。当時から囲碁や将棋の

世界では、AIがプロ棋士を破る事例がよく報告されていたため、なんとなく、人工知能だから当然という気持ちがあったからであろう。しかし、今思うと、囲碁や将棋とは異なり、絵は芸術、美的感覚の世界であり、人を感動させるような作品をAIが作成し、しかもそれを人間が評価してグランプリを取ったと言うのであるから、驚くべきことと言わざるを得ない。今回、この稿を書くに当たり、AIで絵を描くとはどういうことか調べてみた。

AIで絵を描くには、画像生成AI（ソフト）を用いるのであるが、生成の手順は、描きたい絵の主題を言語化し、表現方法や自然な絵画出力の為の言葉を組合せて文章（プロンプト）を作成し、これをAIのツールに入力するだけで、自動で絵が生成されるのだそう。つまり、AIで良い絵を「描く」には、如何に良い文章を「書く」かに懸っており、当然の事ながら人間の作品のように、その人の画才や画力に全く関係がないのだ。AIでキャンバスに直接絵を描くことは今の

ところ実用化されてはいないが、研究段階では、ロボットアームと連動させて描くという試みは既に始まっているようである。こうなると、AIで描いた絵を偽って、例えば著名な画家の作品と表示すれば、人はいわゆる贋作を購入してしまうという結果に繋がってしまう。

ある研究によると、作者を伏せたまま、AIと人間の作品を評価させたところ、その評価に有意な差は認められなかったが、同じ絵を初めから作者がAIか人間かを知った上で作品を評価させると、人間作品よりもAI作品は低く評価されることが示されたそうである。自分に置き換えてみても、作者がAIと分かっている絵は、如何に素晴らしい絵であっても欲しいとは思わない。

絵はやはり、実際に見て感動し、是非描いてみたいと思う対象に出会えた時が一番の喜びであり、また良い作品が生まれると信じている。現実にはなかなかそうした機会に巡り合う事は少ないが、そんな機会が訪れた時の為に日々の努力が欠かせないのであろう。

2025年 暑気払い (武内)



7月26日（土）北条先生のアトリエデッサン会（着衣モデル）がありましたが、終了後恒例の有志による暑気払いを「銀座でワイン」で行いました。先生を含め会員やゲスト11人が参加、久しぶりの大勢による飲み会で約2時間大いに飲み、食い、おしゃべりでは盛り上がり、外の猛暑を吹き飛ばしました。8月は休養して鋭気を養い9月には再び元気な姿で再会できることを祈り、散会しました。

アトリエの予定 担当：田中

9月13日（土）3：30～6：30.....山本先生
着衣人物

おやつ当番：.....関根

9月20日（土）3：30～6：30.....北条先生

モチーフ当番：.....峰岸

おやつ当番：.....高橋

9月27日（土）3:30～6:30.....常世先生

モチーフ当番：.....美原

おやつ当番：.....武内

10月11日（土）3:30～6:30.....山本先生

モチーフ当番：.....リタ

おやつ当番.....田中

10月18日（土）3:30～6：30.....北条先生

着衣人物

おやつ当番.....福田

10月25日（土）3:30～6:30.....常世先生

モチーフ当番.....若色

おやつ当番.....前田

編集後記：小生の従弟が執筆している書籍「認知症になりにくい人・なりやすい人の習慣」より：

*腕力が強いと認知症になりにくい。週3回以上の運動でリスクは下がる。70歳過ぎは小太りが認知症になりにくい。嗜む態度の飲酒ならリスクが下がる。よく会話をする人ほど認知症リスクは低い。楽器を演奏する人は認知症リスクが低い。1日1回以上の外出でリスクは下がる。働き続けている人はリスクが低い。定期的な歯科受診でリスクが低下。さっさと歩く人は認知症になりにくい。.....等々、日々の習慣で認知症のリスクが下がることがデータから実証されています。皆さまも是非ご参考にしてください。.....美原